

- ◆ 第3期教育振興基本計画策定に向けた検討においては、客観的な根拠を重視した教育政策のPDCAサイクルを確立するため、目標と施策群及び指標の関係について、ロジックモデルを活用して体系的に整理した。

各目標と指標との関係については、目標をよりの確に測定する指標となるよう、さらに体系的な整理を行うこととし、以下の方針のもと、指標を精選する。

(参考)「第3期教育振興基本計画の策定について」(諮問)においても、「明確化かつ精選した指標を設定し、教育政策の検証改善サイクルを確立する」ことを検討事項に位置付けている。

【方針】

別添の方式で一覧を作成

⇒基本的な方針1から4においては、アウトカム指標の中から目標をより明確に測定する重要な指標を選定。

(不足している場合は追加も検討)

⇒基本的な方針5においては、他の4つの方針の基盤となる条件整備そのものを目標としているため、アウトカムとアウトプットの違いを設けず、目標に対する成果をより明確に測定する重要な指標を選定。

(参考)「第3期教育振興基本計画の策定に向けたこれまでの審議経過について」

・指標については、アウトカム指標を基本とするが、アウトカムの測定が困難な場合には、目標実現につながるアウトプット指標を設定する。

・指標の設定に当たっては、目標が教育を受ける者の状態に関するものであるか、条件整備に関するものであるかという性質の違いにより、アウトカム指標か否かの位置づけに違いが出ることや、各指標によって目標の達成状況を測ることができる程度は異なり、指標のみをもって目標の達成状況に係る全ての要因を評価することは困難であることに留意する必要がある。 --

- ◆ 精選した指標は一覧に赤字で記載。(今後答申本体に記載予定)

黒字の指標は、各地域によるそれぞれの実情を踏まえた指標設定の参考となるよう、今後、答申の参考資料等で記載し、フォローアップの際にデータを把握。

「第3期教育振興基本計画の策定に向けたこれまでの審議経過について」の目標・指標候補・施策群の関係性

別添

【例】

※赤字は答申に記載する現時点での候補

	目標(○)・・・ ……	目標(○)・・・ ……	目標(2)豊かな心の育成 子供たちの豊かな情操や道徳心を培い、正義感、責任感、規範意識、自他の生命の尊重、自己肯定感、他者への思いやり、人間関係を築く力、社会性、個人の価値を尊重し、男女の平等を重んじる態度、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度、前向きに挑戦しやり遂げる力などを養う。
アウトカム指標	①目標の達成状況を直接的・定量的に測る指標、又は目標の達成状況の一部を測る指標 ----- ②目標の達成状況を間接的に測る指標	アウトカム指標:教育政策の受益者に対して生じる成果を測定するための指標 -----	【豊かな心の育成状況を直接的・定量的に把握することは困難】 ※豊かな心の育成状況の一部を測る指標として自己肯定感・自己有用感に関する指標を設定 (測定指標候補) ・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合の改善 (参考指標候補) ・今の自分が好きだと思う小・中・高校生の割合 ・人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合 ----- ※豊かな心の育成状況を間接的に測るいじめの状況に関する指標を設定 (測定指標候補) ・いじめの認知件数に占める、いじめの解消しているものの割合の改善
アウトプット指標	③目標実現につながるアウトプット指標	アウトプット指標:教育政策の実施により産出される結果を測定するための指標	----- (参考指標候補) ・児童生徒1,000人当たりのいじめの認知件数の都道府県格差の倍率
主な施策群(インプット)	④②又は③に関連の深い施策群 ⑤目標を実現するために必要となる施策群	(参考)インプット:教育政策を実施するために投入する資源	----- ○いじめ等への対応の徹底、人権教育の推進 ○子供たちの自己肯定感の育成 ○道徳教育の推進 ○いじめ等への対応の徹底、人権教育の推進 ○体験活動や読書活動の充実 ○伝統や文化等に関する教育の推進 ○青少年の健全育成 ○主権者教育の推進 ○持続可能な開発のための教育(ESD)の推進 ○環境教育の推進 ○災害からの復興等持続可能な地域づくりのための教育の推進